

世界日報 2006年(平成18年)5月4日(水) 掲載

天皇は日本文化の粋

今の憲法は古すぎる。刻々と変化する時代についていけない。それに GHQ(連合軍総司令部)が作ったことによる弊害が非常に大きい。日本の良い所が全部欠落している。

家族の絆(きずな)を守り、地域の連帯を図り、祖国を愛するという素朴な伝統、文化が無視されている。国民は文化を中心にまとまるべきだ。「天皇は平和を愛する立憲君主だ」とドナルド・キーンが言っているが、天皇はまさに日本の文化の粋だ。これをはっきり示すべきだ。

最も重要な安全保障問題。岸信介元首相は、①国連と協力しての日本の防衛②国内の政治、経済の安定③自衛隊の存在④日米安保の維持——という四原則を主張した。ところが、内閣法制局による集団的自衛権は有するが行使できない、国連との集団安保は九条に反するといった解釈が悪かった。

また、環境権、情報公開など新たな価値観も生まれている。今の憲法は不文憲法だ。きちり明文化して成文憲法とし、しっかり守っていく憲法にしなければならない。